



## 子どもから子どもへ広がる読書！

図書委員会では、今年の活動計画を話し合う中で、1年生へ本の読み聞かせをしてあげたいという意見が出てすぐに準備を始めました。絵本選びと読む練習です。1年担任の大竹先生に相談し、4月14日（火）朝の時間、図書委員による1年生への本の読み聞かせが実現しました。4～6年生の図書委員の子どもたちは、翌週の委員会活動で次のような感想を発表していました。

- 「1年生に、おもしろかったと言われて、うれしかったです。」
- 「1年生が、真剣に聞いていました。」
- 「間違い探しの本だったから、一緒に間違い探しができて楽しかったです。」
- 「1年生が好きそうな動物の本を選んで読んだら、気に入ってもらえました。」
- 「1年生と、仲良くなるきっかけになりました。」



1年生に喜んでもらえて、図書委員の子どもたちはとても満足そうでした。図書委員の子どもたちと共に、読書の輪を学校中に広げていきたいと思えます。



## 学校司書と学習しました！

4年生国語科「図書館の達人になろう」という単元で、学校司書と図書館の本の分類や、ラベルの意味について学習しました。

図書室クイズの答えを求めて本を検索！！



ラベルの意味を勉強して、ラベル作り体験！



こちらは朝の読み聞かせの様子です。  
『せかいでいちばんつよい国』のお話に興味津々！！



ほかの学年でも「本は友だち」の単元で、学校図書館の学習があります。

1年生では本の借り方の案内、2年生ではどこにどんな本があるか地図に書き込んだり、本探しクイズをしたりしました。

子どもたちにとって一番身近な図書館は学校図書館です。そこで図書館の仕組みやラベルの意味を学んでもらうことで、公共図書館も使いこなせるようになります。

人生100年時代、生涯の学びのパートナーとして図書館を使いこなせるようになってほしい…そんな思いで図書館の学習を行っています。